

中央分水嶺・高島トレイル ①② 個人山行報告

平尾

- ・日時 ①2024年4月23日(火) 雨のち曇り
②2024年4月25日(木)～26日(金) 曇りのち晴れ
- ・ルート ①愛発越(9:00)～乗鞍岳(10:32)～黒河峠(12:41)～赤坂山(14:07)～マキノ高原(15:44) 14.4km 上り1,121m/下り1,307m 6時間44分
②マキノ高原(9:30)～栗柄越(11:10)～大谷山(12:47)～抜土(13:58)～大御影山(15:25)～三重嶽手前(18:23)
三重嶽手前(6:00)～三重嶽(6:07)～武奈ヶ嶽(8:32)～水坂峠(10:45)～近江角川(11:30) 29.2km 上り2,226m/下り2,161m 18時間23分
- ・同行者 OB下坂氏

高島トレイルは、滋賀県マキノから滋賀・福井・京都府県境を朽木まで連なる中央分水嶺80kmを歩くロングトレイルで、12の名山と12の若狭越えの峠を越えていく。12の名山とは、東から乗鞍岳、三国山、赤坂山、大谷山、大御影山、三重嶽(さんじょうがたけ)、武奈ヶ嶽、二の谷山、行者山、駒ヶ岳、百里ヶ岳、三国峠、三国岳(さんごくだけ)をいう。このうち乗鞍岳、三国山、赤坂山、大谷山、大御影山、駒ヶ岳、百里ヶ岳、三国峠へは日帰り山行で何度か訪れているが、大谷山以西は交通の便が悪く日帰りですなぐことは困難で、山中のテント泊で全線をつなぐしかないと言っていた。一昨年、テント泊で全線スルーハイクの計画があり参加を申し出た。昨年5月は事情があり中止になり、24年春の実施に向け西山連峰縦走1泊2日や小辺路3泊4日のテント泊でトレーニングを積んで備えてきた。

4月下旬、3泊4日テント泊で実施をめざしたものの天候に恵まれずスルーハイクはかなわなかったが、愛発越から水坂まで、コースの半分にあたる40kmを1泊と3日かけて歩くことができた。

<4月23日>

4日分の食料と当面水2.50を背負い荷は15kgを越えてしまった。マキノからバスに乗り国境で降りる。途中から小雨が降ってきたので、車中で雨具をつけた。途中で雨が止むことを願いながらスタートする。山の上はガスがかかり真っ白、展望はまったくなし。トキワイカリソウ、カタクリ、イワナシ、トクワカソウ、オオバキスミレの花を足下に見、ブナの新緑を味わいながら雨の中を登る。猿ヶ馬場のブナ林の中で昼食をとった。風もでて雨は止む気配もない。予報では今夜と明日は雨、テントの設営・片付けも雨中の見込、濡れたテントはさらに重量を増す。すでに靴も濡れ寒くなってきたので中断を決定、赤坂山まで行きマキノ高原へ下山し、一旦引返すことにした。ブナの樹幹流や霧中に立つブナ、ブナの新緑の始まりはたっぷり楽しめた。

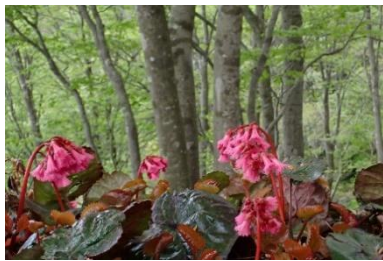
<4月25日>

1日休み、仕切り直して1泊2日の予定で再開。両日とも天気は崩れはない予報。マキノ発9時6分の循環バスを利用、マキノ高原さらさ温泉バス停から9時30分スタート。カタクリの咲いた姿を期待して歩き出す。栗柄越までオオイワカガミやオオバキスミレ、マキノスミレは見られたが、カタクリは数も少なく開いているのはなかった。栗柄越で昼食、寒風へ向かう。上空では雲が南へ早く動き稜線は風が強い。帽子を飛ばされないよう抑えながらアップダウンを繰り返す。途中の枯草の間からカタクリが咲いているのに出会う。次々と現れる花に写真を撮るのに忙しい。ブナ林を抜けて寒風に出て琵琶湖の展望を楽しみ、大谷山を越え抜土へ下っていく。大谷山からの下山路にも素晴らしいブナ林に出会えた。抜土で林道に出て右手の沢で水を各自10補給、浄水タブレットを1粒入れる。ゲートを超え近江坂の急登に行く。気持ちのよいブナの林が続きやがて稜線に乗る。そこからブナ林の中をかなり西行し、反射板のある山頂(950m)へ出る。バイケイソウが畑のように広がっているところを通り大日尾根を下っていく。16時過ぎに三重嶽への北尾根にとりつく。途中少し小広いブナ林で夕食をとる。随所の足元にカタクリの1枚葉があり踏まないように気を付ける。三重嶽で夕陽を見ることをめざし、偽ピークを2つ、3つほど越

えて行く。琵琶湖方面と野坂山地や敦賀の山並みが一望できる 360 度の展望がある登りの先のピークで、夕陽が小浜の海に沈んでいくのを見た。あたりが暗くなるなか踏みあとを直進し尾根を下るが、少し行くと踏み跡が見えなくなったのでヤママップで現在位置を確かめ登り返す。一旦南の鞍部へ下り樹林の中を登り平らな場所を探しテントを張る。遠く先の谷間に集落の明かりが見えていた。19 時 30 分就寝。たまに上空の風の音がするくらいでほとんど物音もせず、立待月の静かな夜だった。

<4 月 26 日>

ブナ林の中で朝を迎える。ブナの木越しに朝焼けを眺め 6 時に出発。トレイル最高峰の三重嶽 (974 m) のピークを踏み、武奈ヶ嶽 (865m) をめざす。尾根の下りで雌のシカを見た。幾つもの小ピークをアップダウンした。途中大小の池や水たまりがあり、両生類の卵塊が見られた。武奈ヶ嶽からはスギ林の尾根筋の厳しい下りが何度も出てくる。ゆっくり慎重に下り、10 時 30 分水坂の舗装路へ出た。水坂峠を越え国道まで出て、トンネルを越えた所にある近江角川のバス停につく。小浜からのバスが 1 時間に 1 本あり 11 時 32 分近江今津行に間に合った。



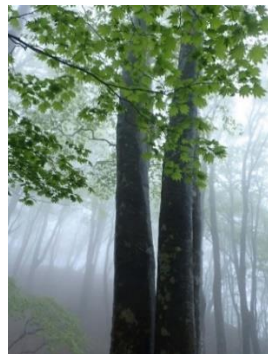
オオイワカガミ



オオカメノキ



ブナ



ブナ林



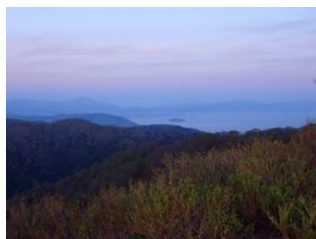
大御影山



山上の池



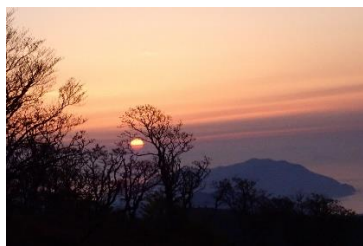
ブナ林



琵琶湖を望む



日本海を望む



夕陽



ブナ林に朝日



武奈ヶ嶽



ミヤマキケマン



トクワカソウ



トキワイカリソウ



カタクリ



オオバキシミレ



ブナ花

見た花：ヒサカキ、タムシバ、アセビ、イワナシ、トクワカソウ（イワウチワ属）、オオイワカガミ（イワカガミ属）、トキワイカリソウ、シハイスミレ、マキノスミレ、ツボスミレ、オオバキシミレ、オオカメノキ、コナラ、ズミ、ミヤマカタバミ、ニガイチゴ、カタクリ、キジムシロ、チゴユリ、サルトリイバラ、ウスギヨウラク、ミヤマガマズミ、ユキグニミツバツツジ